

# 1 地域経済の活性化

集客交流産業の振興に一層積極的に取り組んでいくほか、厳しい経済情勢を踏まえ、雇用対策などにも力を入れていきます。



コンベンションセンター(上)内で最も特徴的な造りとなっている特別会議場(右)。700人まで収容でき、6カ国語の同時通訳に対応可能です



## 集客交流施設の新たな顔 コンベンションセンターが誕生

コンベンション<sup>※1</sup>の誘致など集客交流産業への支援や、街に活気と潤いをもたらす観光の振興など、札幌の魅力を向上させる施策に引き続き取り組みます。

六月二日(月)には、大規模な国際会議やイベント、展示会などを開催できる「札幌コンベンションセンター(白石区東札幌六の二)」がオープンします。二千五百人収容可能な大ホールを会場として、五月三十一日(土)には、オープニングイベントとなる「外国人による日本語弁論大会」を開催。この大会は、今年で四十四回目となる全国規模の大会で、札幌での開催は初めてです。テレビ放送も予定されており、同センターはもろちん、札幌のPRにも効果が期待されます。

す。

オープン後は、六月三十日(月)〜七月十一日(金)に国際測地学・地球物理学連合総会(IGGG 2003)が行われるなど、さまざまな会議やシンポジウムが、年間を通して予定されています。今後も、札幌の魅力やコンベンション開催地としての優位性のPRに一層努め、誘致活動や支援活動に力を入れていきます。

さらに、四月には、(財)札幌国際プラザに「さっぽろフィルムコミッション<sup>※2</sup>」を設立します。札幌を舞台にした作品のロケーション<sup>※3</sup>誘致を本格的に進めるPR活動のほか、情報収集などにより撮影環境の整備を進めていきます。

- ※1 国際会議やイベントなど多くの人が集まる催しの総称。
- ※2 テレビや映画などのロケーションを誘致・支援する非営利組織。
- ※3 街頭など撮影所以外で行われる撮影。

## 予算 トピックス

公共事業などについては地域経済への影響に配慮



コンベンションセンターの建設や札幌駅北口・三地区複合施設の整備など、現五年計画で予定されていた公共施設の整備がまもなく終了するとともに、国からの公共事業関係費が縮減されることから、事業者の仕事を確保することが厳しい状況にあります。

このような中、地域経済の停滞を招くことのないよう、道路や公園などの主要公共事業については、十四年八月末